芳賀町民祭

40年のあゆみ

芳賀町民祭40周年記念

40TH 芳賀町民祭 のあゆみ

Contents

01 町民祭40回記念
芳賀町長インタビュー

02 年表で振り返る
町民祭のあゆみ

06 町民祭誕生までの経緯
町民祭の成り立ち

12 印象的な出来事で綴る
町民祭トピックス

14 第40回記念 芳賀町民祭
未来につなげる
LRT
絵画・作文コンクール

巻末 町長インタビュー Part 2

町民祭40回記念

芳賀町長インタビュー

芳賀町民祭開催委員会委員長
芳賀町長　**見目 匡**

職員　記念誌発刊にあたりまして、町民祭の古い資料を整理していたら、見目町長にまつわる記事を見つけたので、インタビュー形式で振り返りたいと思います。

町長　第1回芳賀町民祭が開催されてから今年で40年を迎えます。
40回の軌跡をたどる「第40回記念芳賀町民祭記念誌」の発刊にあたりご挨拶させていただきます。
昨年から世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しています。
町内最大のイベントである「芳賀町民祭」は2年連続で中止となってしまいました。町民の皆さんが開催を待ち望んでいたことは、肌で感じているところです。

職員　第1回町民祭文化部門の写真展で町長の名前を発見しましたが、覚えていますか。

町長　覚えています。宇都宮市にある高田写真館の店主にアドバイスはもらっていましたが、ほとんど独学で写真を始めた頃の写真です。町民祭の文化部門で写真展があることを知って出展しました。
題して「巨匠」、益子焼の窯元にお邪魔して、気迫あふれる一瞬をカメラに収めました。(写真1)

職員　なんと第1回から第4回まで連続で特選を受賞していました。他のコンクールにも出展していたのでしょうか。どんな写真でしょうか?

町長　栃木県美術展では奨励賞を受賞し、栃木県芸術祭では2度入選しました。
成人してからは、冬の北アルプスや八ヶ岳によく登っていたので冬山の写真が多いですね。(写真2)

職員　当時の出展者のお名前を拝見すると、現在も写真愛好家として活動している方が見受けられますが、町長は今も写真に興味がありますか?

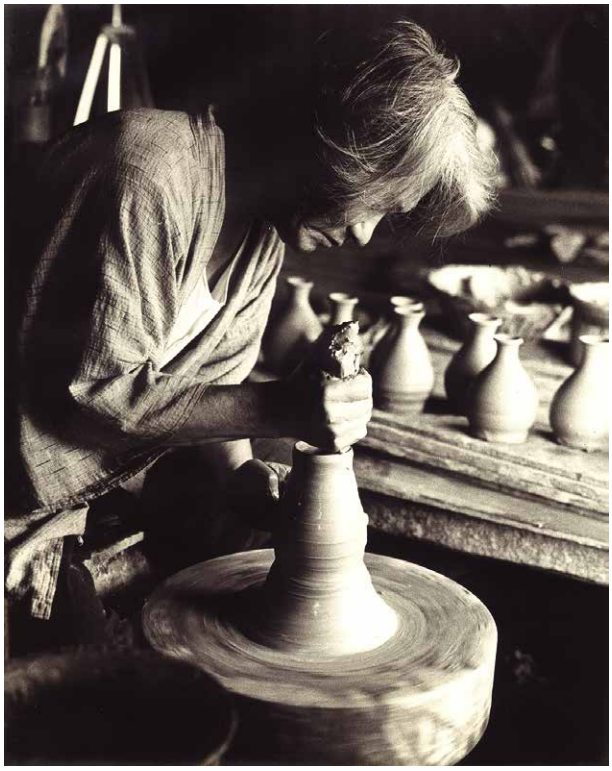
(写真:②)

町長　写真を始めて10年ぐらいで限界を感じてニコンのカメラを置きました。自宅に現像室を造り、寝る間も惜しんで没頭していた時が懐かしいです。

職員　町民祭の歴史を振り返りますと、昭和42年に開催された「文化祭」、昭和54年に開催された「産業祭」が合体したイベントが「町民祭」です。
更には、農業者トレーニングセンターや町民会館、役場、道の駅はが、総合情報館などの施設が建設されたため、作品の展示や発表、物品販売、体験コーナーなどの催しを開催しやすい環境が整ったことが、町民祭を発展させてきたのだと思います。

町長　農業・商業・工業、そして教育文化、福祉など様々な分野にかかわってきた先人の努力で、現在の芳賀町が成り立っていることは間違いのないことです。
町民祭は後世に誇れるイベントとして、これからも皆さんの記憶に残ることでしょう。

巻末ページにつづく



(写真:①)第1回 芳賀町民祭文化部門 写真展特選作品『巨匠』

芳賀町民祭のあゆみ（1967～2021）

- 昭和42年
  - 第1回文化祭開催
  - 初の建国記念の日
- 昭和45年
  - 芳賀中学校名目上の統合
  - 日本万国博覧会（大阪万博）開幕
- 昭和47年
  - 芳賀中学校校舎完成
  - 札幌冬季オリンピック開催
- 昭和51年
  - ロマンの碑完成
  - 文化祭10周年記念大会
  - ロッキード事件
- 昭和54年
  - ホンダテストコース完成
  - 第1回産業祭開催
  - インベーダーゲームが大流行
- 昭和55年
  - 第1回梨まつり開催
  - 日本の自動車生産台数が世界第1位
- 昭和57年 ●第1回
  - 芳賀工業団地造成着手
  - 第1回芳賀町民祭開催
- 昭和59年 ●第3回
  - 町制30周年
  - 祝賀パレード開催
  - グリコ・森永事件
- 昭和60年 ●第4回
  - 日本航空123便墜落事故
- 昭和61年 ●第5回
  - 役場庁舎完成　台風10号襲来
  - 第1回梨の里マラソン開催
  - 伊豆大島の三原山が噴火
- 昭和62年 ●第6回
  - 芳賀町民憲章制定
  - 町民音頭10周年記念式典
  - 東北自動車道が全線開通
- 昭和63年 ●第7回
  - 芳賀工業団地分譲開始
  - 芳賀農協誕生で農協祭り開催
  - 当時世界最長の青函トンネル開通

●町の出来事　●町民祭主な行事　●日本の出来事

40TH 芳賀町民祭のあゆみ

人気のあった手づくり小物

骨密度検査コーナー

未来の芳賀町絵画展

ふるさと子供大会 水橋小学校の児童たち

歩け歩け大会

たくさんの人でにぎわった青空市

ウルトラクイズ大会「やったー」

自衛隊マーチングバンド

子牛や動物のぬいぐるみも登場した農林祭り

芳賀町民祭のあゆみ（昭和42～令和3）

- 平成元年 ●第8回
  - 芳賀工業団地立地企業操業開始
  - ミス芳賀町コンテスト、ウルトラクイズ開催
  - 消費税施行、税率3％
- 平成2年 ●第9回
  - 「姥が池」栃木自然百選に選出
  - 開会式にヘリコプター登場
  - バブル経済崩壊で株が暴落
- 平成3年 ●第10回
  - 町民会館、与能テニスコート完成
  - 第10回町民祭「ときめきふれあいまつり」
  - 東京都庁が新宿に移転、新東京都庁舎開庁
- 平成4年 ●第11回
  - 第1回さくらまつり
  - 日本人宇宙飛行士・毛利衛氏が宇宙へ
- 平成5年 ●第12回
  - ウルトラクイズ 優勝はサイパン旅行
  - サッカーJリーグ開幕
- 平成6年 ●第13回
  - 町制40周年
  - 長いのり巻き40mに挑戦
  - 関西国際空港が開港
- 平成7年 ●第14回
  - 芳賀温泉ロマンの湯オープン
  - 阪神・淡路大震災、地下鉄サリン事件
- 平成8年 ●第15回
  - 冨士山自然公園完成
  - 芸術家の岡本太郎が死去
- 平成9年 ●第16回
  - 第1回ふれあいの夜祭開催
  - 山一證券が破綻、消費税率が5％に
- 平成10年 ●第17回
  - 海洋センターオープン、芳賀東小学校開校
  - 長野冬季オリンピック開催
- 平成11年 ●第18回
  - 携帯電話・PHSの電話番号が11桁に

ふれあい夜まつり

ふれあい広場には楽しい笑顔があふれます

白バイ展示撮影会

まが玉作り

芳賀中学校吹奏楽部の皆さん

災害派遣装備品を展示

囲碁将棋大会

餅つき大会

町民体育館で開かれた書画・工芸展

芳賀町民祭のあゆみ(1967～2021)

●町民祭主な行事　●日本の出来事

平成12年 ●第19回
- ●武道館完成
- ●循環型社会を目指すをテーマにごみの分別開始
- ●BSデジタル放送開始

平成13年 ●第20回
- ●道の駅はが完成
- ●小泉内閣発足

平成14年 ●第21回
- ●普通交付税の不交付団体となる
- ●町民祭にASIMO登場
- ●住民基本台帳ネットワーク稼働

平成15年 ●第22回
- ●ふれあいの夜祭終了(第7回)、芳賀北小学校開校
- ●小惑星探査機「はやぶさ」打ち上げ

平成16年 ●第23回
- ●町制50周年
- ●未来の芳賀町絵画展開催
- ●新潟県中越地震

平成17年 ●第24回
- ●ひばりタクシー運用開始
- ●JR福知山線脱線事故

平成18年 ●第25回
- ●芳賀南小学校開校
- ●道の駅はがで芳賀高校最後の文化祭
- ●表参道ヒルズがオープン

平成19年 ●第26回
- ●県立芳賀高等学校が閉校
- ●赤ちゃんポストの設置を認可

平成20年 ●第27回
- ●総合情報館開館、赤羽有紀子選手北京五輪出場
- ●にっこり梨の品評会開催
- ●タクシーの全面禁煙化が始まる

平成21年 ●第28回
- ●梨の里マラソンに赤羽選手登場
- ●裁判員制度による初の裁判が始まる

平成22年 ●第29回
- ●唐桶溜が農林水産省「ため池百選」に認定
- ●商工会青年部による「HAGA焼きソバ」登場
- ●日本年金機構が発足

はしご車からの眺め

ホンダコーナー

循環型社会環境をめざして

商工会工業部会

小物セールはかわいいものがいっぱい

さんま＆つみれ汁

商工会青年部

苗木の無料配布

はしご車体験・撮影会

消防芳賀分署コーナー

農村生活研究グループ

書画工芸展

芳賀町民祭のあゆみ（昭和42～令和3）

●町の出来事

平成23年 ●第30回
- ●芳賀チャンネル開局
- ●復興をテーマに宮城女川町の支援さんま無料配布
- ●東日本大震災発生

平成24年 ●第31回
- ●国道123号線水橋バイパス開通
- ●東京スカイツリーが開業

平成25年 ●第32回
- ●マスコット「はがまるくん」誕生
- ●リユース食器の使用が始まる
- ●富士山が世界文化遺産に登録される

平成26年 ●第33回
- ●町制60周年 県道宇都宮茂木線バイパス全線開通
- ●赤羽有紀子ロードマラソン開催
- ●御嶽山が噴火、50人以上が死亡

平成27年 ●第34回
- ●マイナンバー制度がスタート

平成28年 ●第35回
- ●三重伊勢志摩サミットが開催

平成29年 ●第36回
- ●LRT整備に関する事業を国土交通省が認可
- ●米まつり開催
- ●稀勢の里が横綱に昇進

平成30年 ●第37回
- ●情報館10周年記念「横山大観展」開催、LRT整備竣工
- ●築地市場が豊洲へ移転

令和元年 ●第38回
- ●芳賀第2工業団地竣工
- ●消費税が8％から10％に引き上げ

令和2年 ●第39回
- ●世界中で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう
- ●町民祭中止
- ●東京オリンピックが延期、夏の甲子園は中止

令和3年 ●第40回
- ●北部第2地区圃場整備事業開始
- ●町民祭中止、LRT絵画作文コンクール開催
- ●東京オリンピック開催

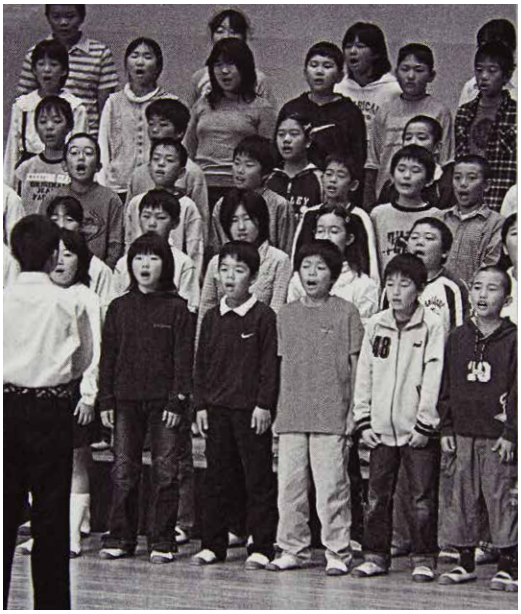
ロマン太鼓

梨の里マラソン（小学生の部）

抽選会（母子会）

ちびっこ太鼓

みささ館作品展


合唱コンクールの様子

芳賀東小学校マーチングバンド

酪農組合コーナー

音楽芸能大会

芳賀町民祭の成り立ち（1967～2021）

文化発表

町民祭文化部門の前身は、昭和42年に教育制度制定20周年を記念して開催された「教育文化祭」です。

（写真①：第1回教育文化祭）

当時から作品展示、音楽発表会、生花展や教育関係者功労表彰などが行われていました。

昭和54年に農業者トレーニングセンター、平成3年に町民会館が完成するまでは、町の体育館や公民館、小学校の体育館を使用した文化祭が行われていました。

（写真②：昭和47年 芸能発表 町体育館）

以降、小中学生による音楽発表会、芸能発表、生花展、写真展、絵画展など幅広い文化の競演が現在も行われています。

（写真③：第28回生花展 町民会館）

また、最近では総合情報館を利用した特別展示を開催し、町外からも見学に訪れる方が増えています。

（写真④：平成30年度第37回特別展 ポスター）

産業の振興

（写真⑤：昭和54年売れ行き好調 4Hクラブ模擬店：農業者トレーニングセンター）

町民祭産業部門の前身は、昭和54年に開催された「産業祭」です。この年に完成した農業者トレーニングセンターを会場に『伸び行く芳賀町の産業を見直し、心のふれあうまちづくり』を目的として、農産物や農業用機械、木工用機械の展示をはじめ、農産物の即売会や営農相談会が開催されました。

昭和45年から始まった米の生産調整対策で米の消費を拡大しようと町民祭では、米消費拡大事業が展開されました。

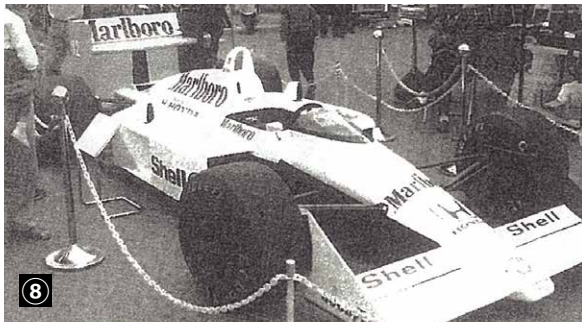
（写真⑥：昭和57年 第1回町民祭 おにぎり作りに忙しいお母さんたち：農業者トレーニングセンター）

また、平成29年度第36回町民祭では、「赤羽有紀子さんとつくるＨＡＧＡむすび」と称した米祭りを開催しました。

（写真⑦：第36回町民祭 米祭りの様子）

昭和63年には町内に3つあった農協が合併し芳賀農協が誕生、町民祭と農協祭りが同時に開催することになりました。

昭和63年に芳賀工業団地の分譲が始まり、平成2年頃から立地した企業の操業が始まりました。特に当時の本田技術研究所のはからいでヘリコプター体験飛行が行われたり、世界中のレースに参加したＦ1の展示がされたりし多くの来場者を楽しませました。



（写真⑧：第8回町民祭F1マシン）

（写真⑨：第5回町民祭ヘリコプター遊覧飛行）

ウルトラクイズ

平成元年度第8回町民祭では、芳賀町商工会青年部による「ウルトラクイズ」が開催されました。題して「目指せサイパン!」、参加者は860人、優勝賞品のサイパン旅行を目指して熱戦が展開されていました。

（写真⑩：第8回町民祭 ウルトラクイズ決勝戦）

（写真⑪：第9回町民祭 参加者の様子）

のちにウルトラクイズは、サイコロを使った○×クイズに変わり、更にビンゴゲームとなり、現在も楽しいイベントになっています。

（写真⑫：第24回町民祭 ○×ゲームの様子）

多彩なイベント

町民祭では、各ブースで行われる展示や物産品販売の他にオープニングやステージで多彩なイベントを開催しています。

開会式では、芳賀東小学校のマーチングバンドが会場を盛り上げています。平成10年に芳賀東小マーチングバンド部が結成され、その年の第17回町民祭から登場しています。

(写真⑬:平成10年 芳賀東小学校 マーチングバンド)

役場新庁舎が完成した昭和61年第5回町民祭から役場駐車場会場内にステージが設けられ、よさこい踊りやフォークダンス、四竹踊りなどの芸能が披露されました。

第6回町民祭では、芳賀町民音頭制定10周年を記念して芳賀中学校吹奏部の演奏による町民音頭の踊りが披露されました。

また、平成4年度に設立した「芳賀浪漫太鼓」の発表が毎年行われ、平成20年頃から「よさこい」ブームが訪れ、町民祭のステージで度々披露されています。

(写真⑭:昭和62年度 第6回町民祭 踊り披露)

(写真:⑮平成20年第27回町民祭 芳賀よさこい)

また、ボランティアで参加した芳賀中学校の皆さんには貴重な体験となりました。

(写真⑯:第31回町民祭 女川町復興支援つみれ汁)

東日本大震災からの復興をテーマにした平成23年度第30回町民祭では、宮城県女川町で水揚げされたサンマを無料で配布しました。この年から平成27年度第34回町民祭までの5回、町民祭会場にはサンマの塩焼きやつみれ汁、女川産の水産物加工品が並び、多くの来場者が舌鼓を打っていました。

(写真⑰:第31回町民祭 女川町復興支援サンマ塩焼)

⑱

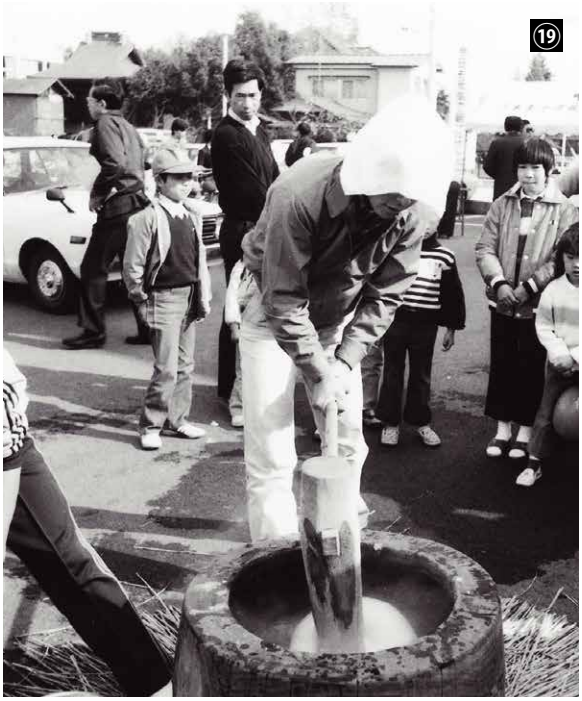
平成15年には芳賀地区広域の消防芳賀分署が役場西側に移設され、芳賀広域で、はしご車を購入したことをきっかけに町民祭にも防災体験コーナーが設けられ、町民の皆さんの防火や災害発生時における危機管理意識向上のPRになっています。

（写真⑱：平成24年第31回町民祭　はしご車搭乗体験）

グルメコーナー

町民祭での楽しみの一つは、グルメコーナーでの食事ではないでしょうか。

町内農業後継者団体の4Hクラブでは、昭和57年度第1回町民祭から米消費拡大の一環で餅つきを行っています。



⑲

（写真⑲：昭和57年第1回町民祭　4Hクラブ餅つき）

⑳

（写真⑳：平成22年第29回町民祭　商工会青年部）

平成22年度第29回町民祭から商工会青年部による地域グルメ「HAGA焼きそば」が登場、今では恒例のグルメとなっています。また、恒例のグルメとしては、そば打ち名人の打ちたて湯でたてを食せる「そばコーナー」です。資料を確認すると平成8年度第15回町民祭でそば打ち名人が打ったそばが振るまわれました。

芳賀町そばを愛する会が結成された平成15年度第22回町民祭から本格的な「手打ちそばコーナー」として現在も出店され、毎回午前中から長蛇の列ができるほど人気のグルメコーナーになっています。

㉑

（写真㉑：平成8年第15回町民祭　手打ちそば名人の工藤さん）

㉒

（写真㉒：平成27年第34回町民祭　そば打ち）

健康福祉

町民祭では健康づくりをテーマにしたイベントを毎年開催しています。昭和55年度には「第1回町民健康づくりの集い」と称し健康食品の展示や健康クイズ大会、健康ウオーキングなど健康に関するイベントが大々的に行われてきました。

（写真㉓：昭和59年度第3回町民祭　500人の老若男女が参加した歩け歩け大会）

また、昭和59年度第3回町民祭からは、国民健康保険を1年間使用しなかった70才以上の高齢者や世帯全員が使用しなかった健康世帯を表彰しました。表彰は、平成12年度第19回町民祭まで続けられていました。

梨の里マラソン

芳賀町民祭の名物イベントと言えば「梨の里マラソン」ではないでしょうか。毎年町内外から多くの参加者が健脚を競うイベントです。第1回は昭和61年度第5回町民祭です。1.5㎞と5㎞のコースに472人が参加しました。翌年の参加者は591人、次は675人と参加者は毎年増加していました。

歴代の優勝者の中には、芳賀町の歴史は無論のこと日本の歴史に名を刻んだランナーがいます。皆さんご存じの北京オリンピックに出場し、大阪女子マラソン優勝者でもある芳志戸出身の赤羽有紀子さんは、記録によると第2回大会から出場し中学1年生まで連続優勝を達成しています。

（残念なことに公式記録が残っておらず推定になりますが…）

北京オリンピック終了後マラソンに転向した赤羽さんは、平成21年度第24回大会にゲスト出場し、参加者に元気と勇気を与えてくださいました。

平成26年度と27年度は町民祭とは別に「赤羽有紀子ロードマラソン大会」と称して、赤羽さんが練習しているコースの一部で大会を開催しました。平成28年度からは、再び町民祭と同時開催になりましたが、県道宇都宮茂木線芳賀バイパスの開通に伴い、コースを変更し ⇨

（写真㉔：昭和62年度町民祭　梨の里マラソン）

（写真㉕：平成30年度 第31回梨の里マラソン）

（写真㉖：平成21年度 第28回町民祭 第24回 梨の里マラソンにゲスト出場した赤羽有紀子さん）

（写真㉗：みんな頑張って！）

（写真㉘：表彰式での一コマ）

「赤羽有紀子ロードマラソン大会」と称して現在に至っています。赤羽さんの他にも、全国中学校駅伝競走大会に出場した選手や都道府県対抗女子駅伝大会に県代表選手として出場した選手が歴代優勝者名簿に名を連ねています。梨の里マラソンの参加者は、町民祭の雰囲気の良さと豪華な賞品に魅せられ、平成12年度の第15回梨の里マラソン大会頃から町外からの参加者が増え、記録も更新され始めました。

（写真㉙：サイン会の様子）

にっこり梨品評会

芳賀町の特産品と言えば「梨」、その中でも特に誇れる種類は、作付面積日本一を目指している「にっこり」です。作付面積が増え、同時に出荷量が増え始めた平成20年第27回町民祭からにっこり梨の品評会が開催されています。

品質の部門と1個の重さを競う部門がありますが、重さの部門では、豊水が300g～400gに対し、出品されるにっこり梨の重さは、1500gから2000gになります。

（写真㉚：平成28年 第35回町民祭 にっこり梨品評会入賞者）

ちょうど、11月開催の町民祭では食べごろとなるため、生産者が見極めたにっこり梨は飛ぶように販売されています。毎年、にっこり梨品評会を目当てに多くの方が町民祭に訪れます。

町民祭関連 特別イベント

番外編として、町民祭と同じように皆さんに楽しんでいただいていたイベントを紹介します。

（写真㉛：平成12年 ふれあいの夜まつり会場「ロマンの湯」に集まる人々）

平成7年にオープンした芳賀温泉ロマンの湯を会場にした「ふれあいの夜まつり」は、平成9年から平成15年までの7回開催されました。素人による屋台でときめきの温泉街をつくろうと町と町観光協会が開催したものでユニークな屋台には客の審査によって賞金がもらえるというお祭りで、毎回、「今年はどんな屋台が出るのだろう」と期待して来場する方が多くいました。

（写真㉜：平成15年　夜まつり表彰式）

町民祭の歴史を駆け足でご紹介しましたが、これからも町民祭は毎年続いてゆきます。どうか今後とも地域活性化の観点と町の発展を願いまして、より一層のご声援とご賛同をいただければと思っております。

Topics 芳賀町民祭トピックス

第1回 1982年(昭和57年)
文化祭、産業祭、健康づくりに消費生活部門を加えた 大イベントが誕生!!

芳賀町の3つの祭を、この年はじめて統合して開催!!

不用品活用セールは
10分で終了するほどの大盛況

第3回 1984年(昭和59年)
町制30周年記念 祝賀パレード開催

記憶に残る祝賀パレード

第5回 1986年(昭和61年)
第1回 梨の里マラソン大会開催

472人が健脚を競う

第6回 1987年(昭和62年)
町民音頭制定10周年記念大会開催

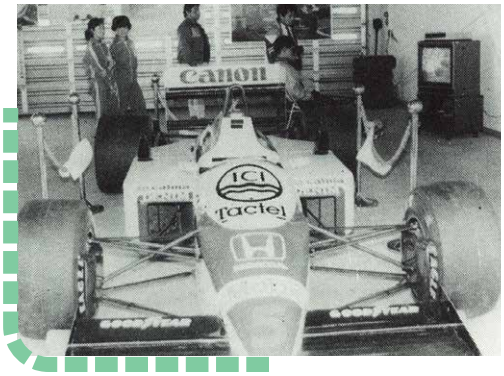
息もピッタリに踊る皆さん

第7回 1988年(昭和63年)
芳賀農協誕生で農協祭り

ふるさと食堂コーナーは毎回賑わいをみせる

第8回 1989年(平成元年)
世界のサーキットを走るF1マシンが登場

夢のF1マシンがやってきた!!



第9回 1990年(平成2年)
1、250人が参加し、サイパンを目指すウルトラクイズを開催

参加者全員が火花を散らすウルトラクイズ

芳賀町民祭の印象的なトピックを写真とともに振り返ります。

子供達が未来を描く

第23回 2004年(平成16年)
町制50周年記念事業
未来の芳賀町絵画展

あじわい深い、浪漫な香りに乾杯！

第10回 1991年(平成3年)
町の地酒
「芳賀浪漫」発表

地元の星 赤羽有紀子選手

第28回 2009年(平成21年)
梨の里マラソンに
赤羽有紀子選手登場

魂を震わす迫力のロマン太鼓

第12回 1993年(平成4年)
芳賀町浪漫太鼓
が披露される

焼いても焼いても大行列！さんま祭り

第31回 2011年(平成23年)
宮城県女川町復興
支援事業 さんま祭り

記録に挑戦！！長いのりまき

第13回 1994年(平成6年)
町制40周年記念
長いのりまき40m

新米のうまさ際立つ、米祭り

第36回 2017年(平成29年)
町民祭特別イベント
米祭り開催

町民祭名物マーチングバンド

第17回 1998年(平成10年)
芳賀東小学校
マーチングバンドが
お祭りを盛り上げる

第40回記念 芳賀町民祭 未来につなげるLRT絵画・作文コンクール入賞作品

LRTとともに豊かで便利に発展していく「ふるさと芳賀町」。未来の様子を想像した絵画や作文を募集しました。

応募作品総数

・絵画　164点
・作文　42点

厳正な審査による結果は次のとおりです。

審査委員による審査の様子

絵画の部

最優秀賞

町長賞

芳賀東小学校3年　増淵　悠乃さん

作品タイトル『LRTに乗って家族で遊びに行きたいな!!』

絵画の部

優秀賞

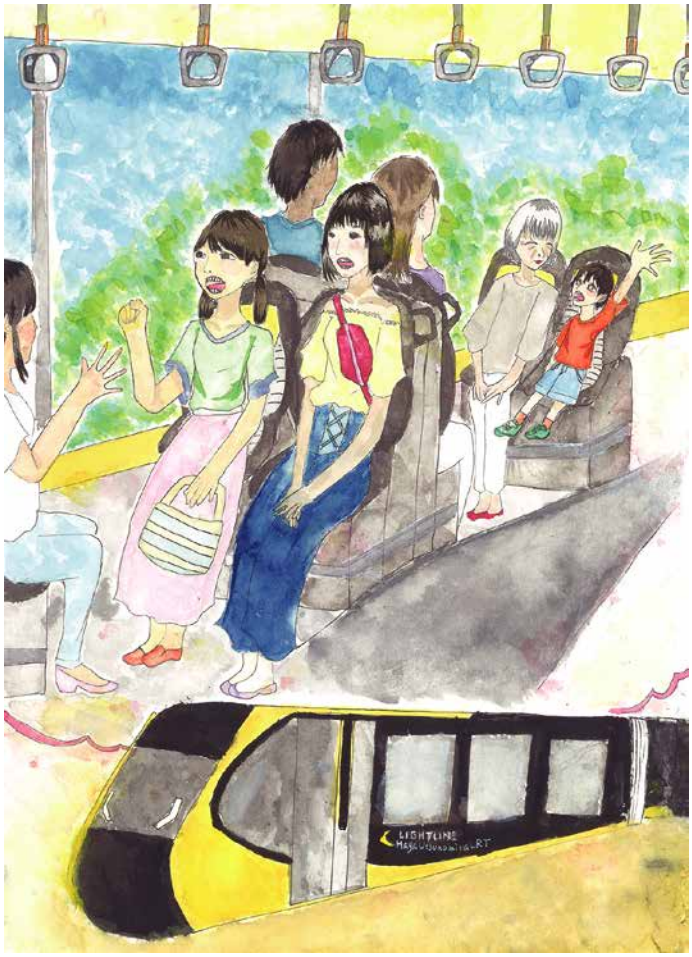
教育長賞

芳賀中学校3年

押久保 知暉さん

作品タイトル

『ＬＲＴによってさらに発展してゆき豊かになっていく、そして、誰もが、「次は芳賀町へ」と訪れたくなるような、愛される芳賀町。』



絵画の部

優秀賞

芳賀東小学校6年

福田 唯さん

作品タイトル

『ＬＲＴに乗ると、みんなが笑顔になる。あたたかい空気になる。』

絵画の部

優秀賞

芳賀東小学校4年

山本 倫太朗さん

作品タイトル

『ぼくの町を走るかっこいいＬＲＴ!!』

作文の部

最優秀賞

芳賀南小学校1年

砂賀 琴心さん

『はやくＬＲＴにのりたいな』

はやくＬＲＴにのりたいな　ねんすながことみ

わたしがすんでいるまちに、ＬＲＴというあたらしいのりものがやってきます。たくさんのひとがいっぱいかんがえてきめてくれたそうです。

ＬＲＴはとおくでつくられてとらっくにのせられてはこばれてきたそうです。それをしったとき、すごいなとおもいました。

それから、ＬＲＴはトトラというカードでのることができるそうです。わたしは、べんりそうなので、はやくカードをもってのってみたいです。

わたしには、ＬＲＴにのっていってみたいところがいっぱいあります。一ばんいきたいところは、おじいちゃんのおうちです。ＬＲＴにのって、おじいちゃんにあいにいきたいです。おじいちゃんは、とうきょうからうつのみやにひっこしてきました。おじいちゃんがさみしくないように、あいにいきたいとおもいます。

それから、おじいちゃんに、はがまちにきてもらいたいです。おじいちゃんがあそびにきたら、みちのえきでいっしょにアイスをたべたいです。

そのほかにも、わたしがいったことのないところにＬＲＴにのっていってみたいです。

ＬＲＴがはしるのが、すごくわくわくしてたのしみです。

作文の部

優秀賞

芳賀南小学校1年

小林 咲晶さん

『はがまちのあしとなるＬＲＴ』

はがまちのあしとなるＬＲＴ　はがみなみしょうーねんこばやしさら

わたしのまちに、ＬＲＴがやってきます。ＬＲＴはすごくかっこいいです。くろときいろのにしょくで、はやぶさにています。わたしも、はやくのってみたいです。

ＬＲＴは、しゃたいがひくくて、くるまいすのひとやベビーカーをおしているひともそのままのることができるそうです。わたしは、いろいろなひとにつかいやすくできていてすごいとおもいました。

わたしは、うだんちゃとははにくるまでいろいろなところにのはこんでもらいます。くるまだと、じゅうたいにまきこまれるせすすめなくなるので、じかんどおりにいどうできるＬＲＴはすごいとおもいます。

もし、ＬＲＴにのれるようになったら、おじいちゃんやおばあちゃんにせきをゆずってあげたいとおもいます。それから、ＬＲＴにのってはがまちのけしきをゆっくりみてみたいです。

わたしは、くるまいがいのりものにのったことがないのでＬＲＴにのってでもだちにじまんをしたいです。

作文の部

優秀賞

芳賀北小学校5年

砂子澤 奈緒さん

『安心安全な社会へ』

安心安全な社会へ　五年　砂子澤 奈緒

私がはじめてLRTを知った時、完成するのが二〇二三年とだいぶ先の話だったので、あまり関心を持つことができませんでした。しかし、四年生の時に、LRTの名前やデザインを選ぶことに参加した事で私たちも関わっているんだと感じることができ、とてもLRTの完成が楽しみになりました。そして、LRTができることでどのように生活が変わるのか考えるようになりました。

前にテレビのニュースで、小学生の児童が下校している最中に大きいトラックがつっこんで、亡くなってしまったという悲しい事故を知りました。交通事故の原因は、いねむり運転や飲酒運転、高れい者のアクセルとブレーキの踏みまちがえが多いです。そこで、LRTをこのような人達に使ってもらい、交通事故が減って、子どもからお年よりまで安心・安全にくらせる社会になってほしいと思います。そして、私達の町が笑顔あふれる場所にもなってほしいと思います。

作文の部

優秀賞

芳賀東小学校6年

廣木 新悟さん

『LRTで変わるくらし』

LRTで変わるくらし　廣木 新悟

農業の町でもある芳賀町にとって、はい気ガスの排出が少ないLRTは農作物にとってもやさしい乗り物であると思います。毎日の食卓にのぼるご飯や野菜や果物、学校で食べる給食も、もしかしたら今よりさらにおいしくなっているかもしれないと思うと嬉しい気持ちになります。

また、運賃が安いことや車内がゆったりしていることもみカで、気の合う友達と出かけるのにも便利だと感じます。ぼくは、本を読むことが大好きで図書館をよく利用するけれど新しい本がたくさん置いてある書店にもLRTを使って行くことができると思うとワクワクします。

ぼくはLRTが走ることで、道路の混雑がなくなり、道路を利用するすべての人にとって移動が快適になる未来になっているといいなと思います。

作文の部

宇都宮ライトレール㈱社長賞

芳賀北小学校6年

森島 百香さん

『LRTとわたしたち』

LRTとわたしたち　六年　森島百香

わたしは、LRTが完成した未来を想ぞうしていろいろなことを考えました。

まず、お年よりの人や学生、会社員の人たちの交通が便利になると思いました。お年よりの人や学生は、巡回バスに乗って、LRTのりばに行き、自力で買い物や学校などに行けるようになると思いました。会社員の人たちは、朝や夜の通きんラッシュをさけることができると思いました。また、車通きんが減ることで、環境にいいし、地球温暖化を防止できると思いました。

次に、芳賀町までLRTが来ることで、町が発展すると思いました。広い土地や豊かな自然を生かして、農業を体験できるところや巨大アスレチックなどのる供から大人までが楽しんだりできる場所を造り、大せいの人が芳賀町に来るようなイベントをすれば、わたしたちが大人になったとき、より豊かで人と人との交りゅうのある町になっていると思いました。

町民祭40回記念

芳賀町長インタビュー

PART2

聞き手：
芳賀町役場職員

職員　第40回町民祭を記念して、ＬＲＴ絵画作文コンクールを実施しましたが、素晴らしい作品が揃いました。

町長　子供らしい感性で、大人では表現できない絵画や純粋な心が表れる作文は、将来のまちづくりへの夢と希望が感じられ、心が温まると同時に身が引き締まる思いです。
現在、ＬＲＴ開業に向けて芳賀町の魅力向上のための事業を進めています。
人口減少社会において持続可能な町を目指し、ＬＲＴ整備事業の他にほ場整備事業、住宅用地造成事業など町の将来的な基盤の強化を着実に進めています。おかげさまで、住宅用地は好評のうちに完売し、若い世代を中心とした活力ある新しい街並みが形成されつつあります。

職員　昨年と今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、町民祭や各種イベントが中止になり、町民や芳賀町に訪れる方の楽しみが激減しています。

町長　当分の間、新型コロナウイルス感染症の対策を行いながらイベントを開催しなければなりません。イベントの在り方を見直すチャンスととらえ、今後の内容や実施方法を検討していきましょう。

職員　今年の町民祭では、「オンライン作品展」と称し作品や芸能をデジタル化しＳＮＳで公開しました。展示会場に行かなくても様々作品がいつでもどこでもご覧いただけます。（掲載ＱＲコードを参照）
そして、毎年恒例の「ＨＡＧＡグルミネーション」は会場を芳賀ロマンの湯に移し、五行川に架かる吊り橋や桜堤に６万球のイルミネーション電飾が点灯します。

町長　今の芳賀町では、都会からのお客様を迎え町のＰＲを発信するための観光資源は十分ではありません。ＬＲＴが開業し、多くの方を迎え入れる準備を着々と整えています。「道の駅はが」は地球環境にやさしい脱炭素型の最新施設に生まれ変わります。また、不足する施設設備の検討を始めます。さらに、芳志戸の遊水地まで「さくら堤」を創設し四季折々の花々がお客様を迎えます。ＬＲＴ停留場に一番近い公園「かしの森公園」のリニューアルも検討中です。

町長　もちろん、現在の資源をブラッシュアップして活用できるようにします。
これまで培った町の歴史を大切にし、これから芳賀町を訪れる多くの皆さんを歓迎し、楽しんでいただける町民祭を多くの町民の皆さんの手で開催していきましょう。

（おわり）

詳しくはこちら

第40回記念芳賀町民祭
オンライン作品展 特設サイト

https://hagachouminsai.jp/

芳賀町民祭40年のあゆみ

■発行／芳賀町民祭開催委員会　■発行日／2021年12月5日

印刷：協永堂印刷株式会社